

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	IT講習会・IT相談事業	所管	教育委員会教育総務部 生涯学習センター Tel 2924-2954
-----	--------------	----	--------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	情報社会を迎えている今日、情報収集や事務処理など様々な業務に普及されているパソコンの操作の基礎を指導する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	20歳以上の市民	対象とした数	277,315	人
		実際に 利用した数	558	人

活動の内容	(何を したか)	所沢市生涯学習センターがIT講習会を企画し、応募された市民にパソコンの基礎操作方法を講習する。さらに習得された方々のその後のフォローの場所として、また、市民がパソコンの操作方法で不明な場合など気軽に相談場所として、電話や来所によるIT相談に対し市民の情報技術の普及推進を図る。							
活動実績	項目名	講習参加者数	56	項目名	相談者数	502	項目名		単位
			----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,306	2,458	5,464	16.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用者数	講習参加者数+相談者	500	558	111.6
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120600	TEL	2924-2954
事業コード	IT講習会・IT相談事業	担当部課	教育委員会教育総務部 生涯学習センター			
120603		グループ	学習政策			
開始年度		平成 13 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	第3次生涯学習推進計画						
	関連・類似事業							
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び文化をはぐくむまち	人・施策	1節 生涯学習	中柱	1 生涯学習ネットワークの形成	小柱	(2)ITによるネット・コミュニティの充実

H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 28 位

実施計画における位置づけ…H19 \*\*\* H20 ○

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

コード 1111 市民の知りたい情報の提供

事業開始の背景

平成13年度に国より支援を受け市内各地域で展開してきたIT講習会は成果を納め終了したところであるが、この講習会のホールのための相談窓口はなお必要と考え継続した開設を行っている。また当時導入したパソコンも老朽化したことにより、現在の通信技術への対応が難しい状況から、パソコン機器を一新し、様々な通信技術のニーズに対応する必要から当施設ではIT講習会を再開した。

③事業の内容

目的(何のために行うか、具体的に)

情報社会を迎えている今日、情報収集や事務処理など様々な業務に普及されているパソコンの操作の基礎を指導する。

対象(誰を、何を対象としているのか)

20歳以上の市民

利用数の考え方

パソコンの相談及び講習を受けた人数

対象数	単位	平成 18 年度		人	利用数	単位	平成 18 年度		人
		275,987					384		
		平成 19 年度		人			平成 19 年度		人
		277,315					558		

事業の具体的な内容及び実施方法

所沢市生涯学習センターがIT講習会を企画し、応募された市民にパソコンの基礎操作方法を講習する。さらに習得された方々のその後のフォローの場として、また、市民がパソコンの操作方法で不明な場合など気軽に相談場所として、電話や来所によるIT相談に対し市民の情報技術の普及推進を図る。

④前年評価と改善点

平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) < 最終評価  一次評価  二次評価 >

総合評価

事業の継続 ⇒ (  拡充  縮小  統合  改善・効率化  改善余地なし  その他 [ ] )

終了 ⇒ (  事業完了  終了  休止 )

予算

現状どおり  増額  減額  終了

平成19年度中に改善した点

新機種のパソコンを40台導入し、最新の機種に対応した講習を実施した。

⑤経費

<会計種別>	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
当初予算		808	1,306	2,519
決算 (見込み含む)		1,533	2,458	
(嘱託職員) (臨時職員)	( 人) ( 0.01 人)	( 人) ( 0.01 人)		
正規職員人件費		0.30 人 2,760	0.32 人 3,006	
公債費				
事業費合計		4,293	5,464	
財源内訳		4,293	5,464	2,519
一般財源				
国・県支出金				
受益者負担金				
市債				
その他				
市民一人当たり(単位:円)		12.7	16.1	
利用者一単位あたり(単位:円)		11,179.7	9,792.3	

※「財源内訳」について平成20年度のみの、当初予算の内訳となっています。

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		講習参加者数	講習会参加延べ人数	人	70	56	60	
		相談者数	相談受付者数	人	314	502	450	
標	成果分析	利用者数	講習参加者数+相談者	人	目標値 500	500	700	
				%	実績 384	558		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	達成率 76.8	111.6		1

⑦一次評価

評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要ななし		受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	実施する内容によって参加者が増減する		
目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	文書作成・インターネット・メールだけでなく、幅広く市民のニーズに対応した講習会を実施する。	受講者の6割以上が受講前より操作レベルが上がった、講習の成果があったと実感する。
	気軽に相談できる相談室として相談件数が高まるよう努める。	前年実績の90%を達成する。	平成21年3月
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由	パソコンの活用は市民の間に急速浸透しており、気軽に相談する機会や技術の習得の場がなお必要となっているため事業を継続する。		
評価日	平成20年5月19日	記入者職氏名	所長 又吉春雄

⑧二次評価

平成21年度における事業の方向性

総合評価  拡充  縮小  統合  改善・効率化  改善余地なし  その他 [ ]  終了

予算  現状どおり  増額  減額  終了

評価理由

評価日

次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価日						<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性

◎環境基本計画

本事業の左記計画における位置づけ… 無し

計画コード

◎次世代育成支援行動計画

本事業の左記計画における位置づけ… 無し

計画コード

基本目標

主要課題

施策の方向